

## ■2022年高等学校新学習指導要領改訂(その1)

～“作文”から“論理的な文”が書けるカリキュラムに変わる?!～

2022年から、高校の学習指導要領が変更になります。現在の小学校6年生が高校1年生になる年度から変更になる予定です。この改訂は、高大接続改革の一部である「高等学校教育改革」における重要な要素であり、「子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する社会に開かれた教育課程を重視」「現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成」などの基本的な考え方をもとに作成されています。少し分かりづらい内容ですが、要は「これから起こる社会の色々な問題を解決する子どもを育てること」を目的としております。

国語に関しては、一見大きな変更はないように思われます。しかし科目編成を変更することにより「読むこと」に費やす時間に明確な上限が設けられました。実は現行の指導要領においても「読むこと」と「書くこと」に費やされる時間はほぼ同じことにはなっておりましたが、実際にはほぼ「読むこと」偏重の授業になっておりました。その結果として、高校を卒業して大学に入学したときに、ほとんどの学生が「論理的な文を書くことができない」状況になっており、本来専門的な内容からスタートすべき大学教育が、「論理的な文を書く」練習から始めなければならず、海外の高等教育と比較した場合に記述力において、歴然たる差がついてしまっている状況になっております。この状況を打破するために、今回の要領の改訂において、「論理国語」が新設されました。

「現況でも文章を書く指導がされているではないか?」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし現在授業で行われている文章を書く指導の多くは、「作文」の指導であり、「論理的な文(いわゆる論文)」を書くための指導ではないケースが多いです。論文においては「自分の経験・感想」などは意味がありません。「問題の所在と課題の限定」「従来のこの課題に関する定説(根拠付きで)」「自分の課題に対する考え」「その考えの根拠(データ)」の要素が重要になります。この要素を適切な言葉で端的に書くことができるようになるのが「論理国語」の目的と言うこともできます。



編集:英智学館 教務情報課  
電話:0120(710)981  
HP <http://eichikan.co.jp/>

## ■2021年から高校普通科改革がはじまる?!

先日、新聞にて「高校普通科を抜本改革」という記事が目に入りました。内容は、「普通科の卒業単位に21年度目標でメスを入れる」というものでした。早ければ、今夏を目処に文科省令などの制度改正に向けた議論が始まります。

昨今の教育改革にて、小・中・大学の改革は先行していましたが、高校は事実上手つかずになったところに、今回政府がメスを入れようとしております。

現況の高校普通科は全体の7割超で、卒業必要単位は74単位です。74単位中、国・数・理など普通教科10科目また、総合的な学習合わせて38単位を取れば、他の専門的な教科を学ぶことになっています。しかしながら、現実残りの36単位も、結局は大学入試に向けた科目に偏っています。

この偏りを見直すため、文科省令の「普通教育を主とする学科」という普通科の定義を書き換える方向で考えているようです。具体的には、学校設置者である都道府県や学校法人が各学校と協議して「学校ごとの特色ある学科」に変更していく流れです。高校の統廃合に合わせて普通科を廃止して、科学技術の基礎を学ぶ「サイエンス学科」をつくるところもあれば、通える学校が限られている過疎地などでは、普通科をそのまま残し、その下に各種専門コース設置を義務付ける形なども考えられます。

特色を持った学科設置にあたり、教育方針を盛り込んだ「スクールポリシー」を各高校で掲げることになります。例えば「海外で通用する人材の育成」ということで、「英語以外のアジア諸国の言語を履修させる」ということも、極端な話出てくるかもしれません。

いずれにせよ、特色を出すためには、専門の教員も必要になり、それに伴う制度も必要になりますし、現状教員のレベルアップや教員の確保など問題が山積みようです。



## ■最新の「試行テスト」結果出ました!!

現高校1年生から始まる、新しい大学入試「新テスト」の事前調査である「試行テスト」が11月11日・12日に行われ、そのマークテスト部分の平均点(\*)が出ました。

\*新テストからは「筆記解答部分」もあり。今回の試行テストでも実施されましたが、平均点に関しては、現状公開されておられません。

数ⅠAと英語の平均点や内容に関して見てみますと、...

○数ⅠA...平均点 全受験者25.65点/高3受験者30.74点  
筆記15点分のため、85点満点  
○英語...平均点 筆記51.25点/リスニング59.10点  
共に100点満点×2科目 全受験者

数学に関しては、国公立だけでなく、早稲田大学など私立大でも必須教科となっておりますが、平均点が低い結果です。マークのみで換算すると3割2分ということで内容が「難しかった?」と思われるかもしれませんが、実際解いてみると、基礎を確認している問題が多く、そこまでの難しさで無く、むしろ「しっかり読むと簡単?」と思われる問題でした。ただし、「文章をしっかり読む力」があり、「普段から問題に対しての解答を言葉でしっかり書いて演習を解いている」ということが出来ており、また「型で公式を覚えるのではなく、その公式の意味が分かって解いている」という人は楽な問題かと思えます。

英語に関しては、「リスニング問題」の100点分は比較的点数が取りやすいのでは?という感があります。リスニングに関しては、できる限り早い時期から、長い期間掛けて慣らしておく必要があります。

どちらにせよ、これからは資料や問題を見てその意味している内容を読み取る「読解力」、最低限英語圏以外の近隣諸国と会話をするため「英語力」が必要になってきます。それに備えて、面倒なことですが、「しっかり解法を書く」「リスニング・スピーキングの積み重ね」をしていく必要があります。

### 今月の格言・金言 「過ちがないことではなく、過ちを改めることを重んじよ」 ～吉田 松蔭～

幕末に明治維新を行った人材の多くを育てた思想家・教育者、吉田松蔭の言葉です。テストの点数しかり、普段の生活しかり、人ですから必ず「過ち・間違い」はするものです。特に受験生は模試など「点数のみ」にとらわれがちで、「なぜ間違いをしてしまったか?」「二度と同じ間違いをしないためどうするか?」をじっくりと、重きを置いて考えられない人が多いと思います。確かに、模試結果で一喜一憂はしますが、この思考をすることで「自分自身のあり方」を理解でき、人としても成長できるかと思えます。